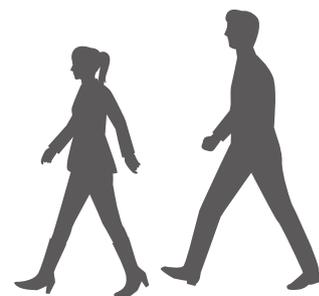


市民1人当りに使われる予算

2018年3月1日現在の人口：42,949人（国勢調査から推計）

計 485,995円

福祉のため（民生費）	143,386円	その他（議会費、労働費、予備費）	5,946円
市民サービスのため（総務費）	78,327円		
借金返済のため（公債費）	53,748円		
道路などの整備のため（土木費）	50,563円		
教育のため（教育費）	46,592円		
ごみ処理や健康のため（衛生費）	41,137円		
農業支援のため（農林水産業費）	31,857円		
消防や防災のため（消防費）	18,577円		
観光や商業のため（商工費）	15,862円		



主な新規の事業紹介

教育費 新規事業

小学校統合推進事業

趣旨

統合小学校を整備します。

内容

2020年に統合予定の高社小学校と2021年に統合予定の豊田小学校の整備。

事業費 1億8,166万7千円

民生費 新規事業

（仮称）中野市新平岡 保育園整備事業

趣旨

老朽化した保育園の整備をします。

内容

1974年に建設された平岡保育園（築44年）。安全で快適な保育を提供するために改築。

事業費 4,391万円

未来のふるさとを
担う子どもたちを
育むまちづくり

教育費 新規事業

海外短期留学事業

趣旨

異文化への関心や外国語学習への意欲を高めるために、中学生の海外留学を実施します。

内容

10日間の短期留学。場所はオーストラリアのメルボルンを予定。

事業費 800万円

シム SIM 信州なかの 2030

財政シミュレーションワークショップ「SIM」で自治体の予算の組み立てを体験してもらいました。



- 1 「仮想中野市」の基本計画を立てる(2030年まで計画)。
- 2 基本計画に沿って、ラウンド1(2018～20年)の「仮想中野市」で実施する事業を12コ選択する。
- 3 ラウンド2・3(2021～24年・2025～30年)それぞれ歳入が減るイベントが起き、歳入の金額に歳出を合わせるよう事業の取捨選択をする。どうしてもコストが合わない場合は、市債を発行して歳入を補う。
- 4 2030年に「仮想中野市」で実施する事業や市債を発行した理由などを発表。

◀ 実際に2018年度予算に計上している事業も「事業カード」にしてSIMに入れました。全てのグループが2030年に残した事業カードです。



総務費 継続事業 公衆無線 LAN 環境構築事業

趣旨
災害時対応や市民・観光客の利便性を上げるため、公共施設でインターネットを使用できるように無線LANを構築。

内容
公共施設に無線LAN設置
現在、各公民館、防災広場、市役所などに設置。

事業費 4,699万8千円

農林水産業費 新規事業 分散型エネルギーインフラプロジェクト・マスタープラン策定事業

趣旨
循環型農業の体制づくりを図ります。

内容
使用済みキノコ培地を利用したバイオマス熱利用の導入の可能性を精査。

事業費 1,000万円

にぎわいと活力
あふれるまちづくり



教育費 新規事業 子ども読書活動推進フォローアッププロジェクト事業

趣旨
子どもたちが自ら本に親しみ、豊かな心と生きる力を育むための支援を行います。

内容
就園、就学前の子どもが本に親しむ習慣を持つように、イベントや講座を開催。

事業費 297万5千円

ふるさとを学び育つ
文化のまちづくり



土木費 新規事業 除雪機械 GPS 整備事業

趣旨
冬期間の安全で快適な道路交通を確保するために除雪作業の効率化を図ります。

内容
除雪車にGPSを設置し、除雪作業の管理・監視を効率化。

事業費 1,580万円

安心・安全な住みよい
まちづくり



市民参加と協働の
まちづくり



総務費 新規事業 シティプロモーション事業

趣旨
中野市の認知度向上などを図るため、シティプロモーションを推進します。

内容
情報発信に特化した地域おこし協力隊を呼び込む。市職員のプロモーション力の強化。

事業費 75万円